まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。
▷問い合わせ　広報情報係
（☎２２３局３５６９）

TOWNS TOPICS

いきいきとした個性豊かな作品が勢ぞろい！

12月5日～20日　あしやんナーレ　みんなの個展

芦屋町を中心に、福岡県内より集まったアーティストたち13組による作品展がギャラリーあしやで行われました。テーマは自由で、水墨画や水彩画、ちぎり絵など大きさや形にとらわれないさまざまな種類の作品が展示されました。会場を訪れた人たちは、個性あふれる作品の数々を楽しそうに鑑賞していました。

昨年はどんな年だった？わたしの漢字一文字展示

11月28日～12月27日　芦屋町図書館・わたしの漢字

芦屋町図書館が「わたしの漢字」を募集したところ、86点の応募がありました。１番多かったのは「密」、２番目は「楽」でした。その中で１つしかなかった文字は59点で全体の約70％を占め、人それぞれの思いがある１年だった事がわかりました。「勝」を書いた人は「ホークス優勝！受験に勝つ！コロナに勝つ！」など昨年を象徴するコメントも寄せていました。

ようこそ令和３年！煩悩（ぼんのう）と一緒にコロナもお祓（はら）いを

12月31日　大晦日の除夜の鐘

令和２年大晦日の午後11時45分ごろ、町内にある複数の寺から除夜の鐘の音が鳴り響き始めました。年越しに寺の梵鐘（ぼんしょう）を108回つく除夜の鐘は、人間の持つ108つの煩悩（ぼんのう）（迷いや苦しみの原因となる心のけがれを表す仏教用語）を祓い心安らかになれると伝えられているもので、古くから日本の風習として行われています。今回は感染症対策で消毒にビニール手袋装着で鐘をつく姿が見られました。

鏡開きのお餅って、割るんじゃなくて開くんだって

1月12日　若葉保育所・鏡開き

今年１年間の無病息災を願って、正月に飾られた鏡餅を開く鏡開きを若葉保育所の年中・年長児が行いました。子どもたちは鏡餅の飾りの名前や意味、鏡開きのやり方などの説明を聞いた後、順番に木槌（きづち）で餅をたたいていました。大きな餅を子どもたちの力で砕くのは大変そうでしたが、参加した園児は「楽しくてすぐに終わったので、もう少しやりたかった」と話していました。

樋口陽介さん

木原教茂さん

芦屋町を町民力でＰＲ！パワー全開！

1月17日　ＫＢＣ九州朝日放送「ふるさとＷｉｓｈ」撮影

芦屋釜の里など町内各所で撮影に挑んだのは、ＫＢＣ地域共創プロジェクト「ふるさとＷｉｓｈ（ウィッシュ）」の番組やＣＭに出演する皆さんです。当日は気温１度の中、時おり突風もあるような強風にあおられながらの撮影となり、出演者は指がかじかんでもセリフをかまないようにと全集中。

ＣＭには芦屋鋳物師の樋口陽介さん（緑ヶ丘）とさわらサミット実行委員の木原教茂（のりしげ）さん（大字芦屋）が出演し、芦屋町の良いところをＰＲ。高校生がリポーターを務める「ハイスクＷｉｓｈ」には、芦屋海岸の砂浜でダンスを披露してくれた高校１年の石田陽土（はると）さん（浜口町）と洞山を背景に習字をしてくれた高校３年の宮原洸志郎（こうしろう）さん（山鹿）が出演。放送を見て、皆さんのいきいきとした姿から元気をたくさんもらってください。放送は２月１日㊊から１週間。お見逃しなく（この企画の詳細は、裏表紙に掲載しています）。

石田陽土さん

宮原洸志郎さん

感染対策がグレードアップ！手洗い台水栓の自動化

公民館や社会体育施設など

芦屋町の新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一つ、公共施設のトイレ手洗い台水栓の自動化事業が昨年 10 月から順次行われ、公民館や社会体育施設などに自動水栓が整備されました。

自動水栓はレバーやハンドルなどを触ることなく手を洗えるため、水栓の共有によるウイルス感染のリスクが低くなり、皆さんが安心して衛生的な新しい生活様式を実践することができます。

人にやさしい環境を目指して

芦屋町役場１階

今年の１月から役場１階の福祉課、健康・こども課、住民課、税務課の窓口カウンターの高さを低くし、また隣の窓口との間に間仕切りを設置することで、皆さんが利用しやすい窓口の整備をしました。ロビーには、新しく授乳室やキッズスペースも設け、小さな子どもを連れた皆さんにも安心して利用してもらえるようになりました。